

【質問】検査職員や監督職員が切削オーバーレイ後の舗装面を計測しましたが、「厚み」が端末画面や出来形帳票に表示されません。ソフトウェアには問題無いと言われました。では、検査職員等は、どうやって「厚み」を確認するのですか？

「TSを用いた出来形管理」に利用するソフトウェアは、2点から「長さ、幅、厚み」を算出する際、同じ計測者が計測した2点を利用するルールになっています。

検査職員や監督職員（検査職員等）は、切削時の下の点を計測しておらず、舗設後の上の点の計測データしかないため、厚みを計算できません。

（監督職員は、切削時と同じ点を計測していれば、厚みを計算できます。）

よって、検査職員等は、現場で「厚み」を確認する際は、下の点を計測した「施工者」モードで上の点を計測して下さい。そのことで、施工者の下の点の計測値を利用した厚みが算出され、画面に表示されます。なお、その時、記録してしまうと、施工者の出来形計測データに上書きしてしまうので**注意**して下さい。

検査職員等としての計測結果をデータに記録したい場合は、「検査職員」や「監督職員」モードで記録して下さい。

また、検査職員等による「厚み」の計測値も入った出来形管理帳票を作成したい場合は、上記の方法で計測した厚みを野帳等にメモしておき、帳票作成ソフトウェアに計測値を手入力して下さい。もしくは、施工者の出来形管理結果のみ出力した紙の帳票に手書きしても構いません。（手書きした帳票を電子納品したい場合は、スキャンしてPDF化して下さい。）

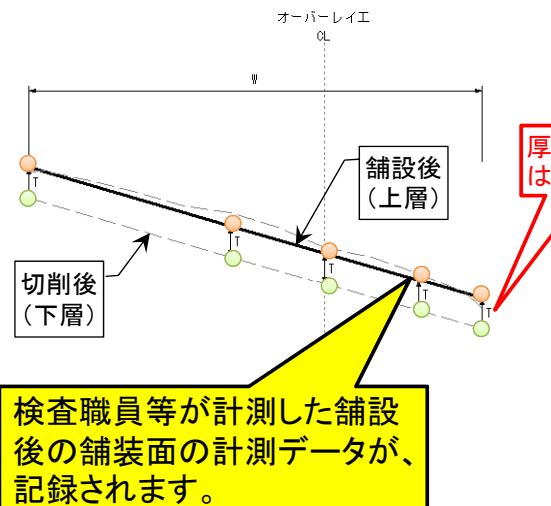
余談ですが、計測値が手入力したものかどうか見分けがつくルールになっています。

注)上記は平成25年12月時点の「要領」や「機能要求仕様書」に適用。

検査職員等による現場での計測・確認

通常（厚み以外）の計測結果の保存

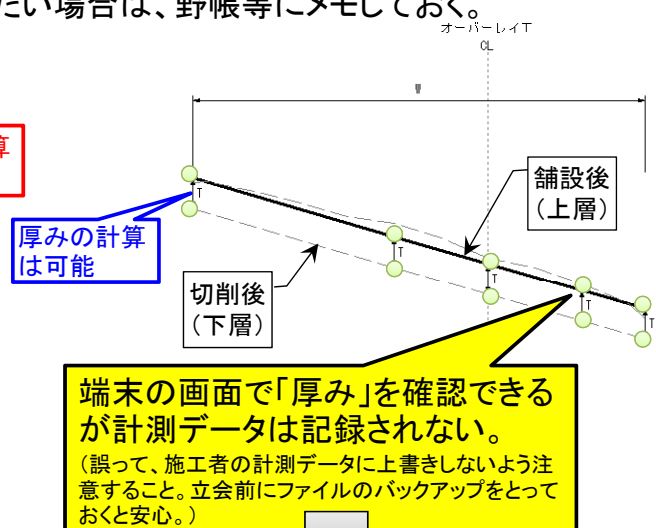
検査職員等の厚み以外の計測データを施工管理データ(XMLファイル)内に情報として保存したい場合には、検査職員モードや監督職員モードで計測し、保存して下さい。



「厚み」の現場確認と計測結果の保存

検査職員等が現場で「厚み」を確認したい場合は、施工者モードで計測することで端末の画面に表示され確認できる。なお、記録すると施工者の計測データに上書きされるので**注意**すること。

出来形帳票に検査職員が確認した「厚み」を表示したい場合は、野帳等にメモしておく。



【凡例】 ● : 検査職員モード等の計測点
● : 施工者モードの計測点

計測値を野帳等にメモしておき、帳票作成ソフトウェアで手入力、又は、紙の帳票に手書きする。

①手入力による厚さの帳票記載例(オーバーレイ工の出来形管理帳票)

検査職員等による「厚さ」の計測値を、帳票作成ソフトウェアで手入力する。

工種 オーバーレイ工 測定者 _____ 印 _____

種別 表層

測定項目	厚さ t1	規格値	社内規格値	測点	設計値	実測値	差
規格値	-9	mm					
社内規格値		mm					
測点				231K236U	50	50	0
平均値				231K240U	50	48	-2
最大値				231K260U	50	51	+1
最小値				231K277.2U	50	53	+3
標準偏差				231K280U	50	50	0
データ数				231K287.2U	50	54	+4
標準偏差				231K300U	50	53	+3
				231K320U	50	53	+3
				231K340U	50	49	-1
				231K360U	50	55	+5
				231K400U	50	55	+5
				231K420U	50		
				231K440U	50		
				231K460U	50		
				231K500U	50	52	+2
				231K520U	50	53	+3
				231K540U	50	53	+3
				231K560U	50	53	+3

この例では、2段目に「監督職員」の計測値が手入力した値として赤く記載されている。 (注) 手入力を制限しているソフトウェアの場合、別頁で説明している「手書き」で対応して下さい

手入力した計測値は、TSで記録した計測値とは区別できる形で記載される。(この例では、手入力は赤字で記載されている)

凡例	
TS	手入力
3段目 検査値	3段目 検査値
2段目 監督値	2段目 監督値
1段目 施工管理値	1段目 施工管理値

①手入力による厚さの帳票記載例(オーバーレイ工の出来形管理帳票)

検査職員等による「厚さ」の計測値を、帳票作成ソフトウェアで手入力する。(前頁の一部拡大)

測定項目	厚さ t1	規格値	社内規格値	測点	設計値	実測値	差
規格値	-9	mm					
社内規格値		mm					
測点				231K236U	50	50	0
				231K240U	50	48	-2
				231K260U	50	51	+1
				231K277.2U	50	53	+3
				231K360U	50	55	+5
				231K400U	50	55	+5
				231K420U	50		
				231K440U	50		

赤文字の2段目は監督職員の計測値を手入力

黒文字の1段目は施工者の計測値をTSで記録

オーバーレイ工の上層(検査職員等が施工者モードで計測)と下層(施工者が計測)で算出した厚さ

オーバーレイ工の上層(施工者が計測)と下層(施工者が計測)で算出した厚さ

凡例	
TS	手入力
3段目 検査値	3段目 検査値
2段目 監督値	2段目 監督値
1段目 施工管理値	1段目 施工管理値

(注) 手入力を制限しているソフトウェアの場合、別頁で説明している「手書き」で対応して下さい。

②手書きによる厚さの帳票記載例(オーバーレイ工の出来形管理帳票)

検査職員等による「厚さ」の計測値を、出力した紙の帳票へ手書きする。

測定項目				厚さ t1				測定項目				厚さ t1			
規格値				-9 mm				規格値				-9 mm			
社内規格値				mm				社内規格値				mm			
測点		設計値	実測値	差	測点		設計値	実測値	差	測点		設計値	実測値	差	
		mm	mm	mm			mm	mm	mm			mm	mm	mm	
231K236U		50	50	0	231K380U		50	55	+5	231K400U					
231K240U			45	-5	231K420U			55	+5	231K440U					
231K250U		50	51	+1			50								
231K277.2U			53	+3											

赤文字の2段目は監督職員の計測値を手書き

オーバーレイ工の上層(検査職員等が施工者モードで計測)と下層(施工者が計測)で算出した厚さ

黒文字の1段目は施工者の計測値をTSで記録

オーバーレイ工の上層(施工者が計測)と下層(施工者が計測)で算出した厚さ

手書きした紙の帳票を電子化したい場合、スキャナ等を用いてPDF化して下さい。

このPDFを電子納品する場合であっても、施工管理データ(XMLファイル)も納品して下さい。

電子化

